

### 実施のための詳細メモ

参加者数：54名 当初は自由着席でよく、あとで移動する。

#### 1. 1日の流れ紹介 (9:30～10:00)

あいさつ／自己紹介

日程説明

- ・「東京都美術館ものがたり」展で実施するためのプログラムを企画するのが課題
  - ・4名ほどのグループで企画する。
  - ・ねらいは、自分たちで、プログラムの開発・改良ができるようになること
- グループ分け
- ・人間KJ法で行う
  - ・「わたしのお得意 (の対象)」を大きな文字で書く (例示はせず自由記入)
  - ・部屋の中で適宜広がってグループを作る
  - ・11ないし12グループにまとめる (4～5名)
  - ・美術館関係者 (別表A印) がグループごとに1名はいることが望ましい。
  - ・荷物を持って移動し、グループに分かれて着席
  - ・グループ番号を決める。入口に近い側から順でよい。

#### 2. プログラム作り、企画書記入 (10:00～11:20)

- ・企画書を配布。一人2枚配布する。
- ・展示を活かしたプログラムづくり
- ・提出するのは企画書。発表時には実施しなくてよい。
- ・「東京都美術館ものがたり」の第1部・第2部 (歴史展示) あるいは第3部 (美術展示) を使ってプログラムを作成する  
(前日までに、各自で展示を下見してある前提)
- ・プログラムの条件提示 (配付資料のとおり)
  - <条件> 対象は個人客を集めたグループを想定 (人数は任意。学校団体は別)  
所要時間、人数などは任意だが、別の日にまたがらない  
事前申し込みの有無も任意  
資料の追加はできない。  
道具などは実現が容易なものなら自由に工夫してよい。  
展示室での活動 (必須) + 作業室での活動 (オプション)  
(余裕がなさすぎるため) スペースなど物理的条件を緩める想定は可。  
説明した以外の規定などについては、個別に相談のこと
  - <注意> プログラムの素材を絞り込むのに時間をかけすぎないこと  
展示室は狭いので、他の来館者に迷惑がかからないよう注意すること
- ・企画書の書式について確認。テーマと目的 (ねらい) がゴッチャになってしまいがち
- ・時間が足りないのでまずは概要を記入
- ・対象を明確に
- ・テーマは素材なり切り口
- ・目的 (ねらい) は作業内容とは別。「参加者は〇〇できるようになる」というような書き方ができるとよい。Take Home Message を明確に。
- ・グループで企画書を1枚作成し、投影しながら2分程度で発表してもらう。
- ・11:20には発表を始めるので、遅くも11:10には戻ってくることを。

- ・以上の説明をし、質問を受け付けたら展示室までまとまって移動。あとは班活動。

スタッフの一部は展示室に残り、11時過ぎには声かけをして戻るよう促す。

#### 3. 発表 (11:20～12:00) 各チーム3分 (発表2分+質疑1分)

発表が始まる前に、午後の活動でのコメントのためにメモをとるように注意する。

グループ番号と、コメントをメモしておくことあとの付箋紙作業が楽。

いいね! (緑色または水色)

なぜ? (黄色)

こうしたら? (桃色)

直接に付箋紙は使わない方がよい (書き方を工夫して書いてもらう方がよい)

午後、貼り出された他チームの企画書に付箋紙でコメントをつけてもらう (苗字を署名)

質問や提案 (黄色や桃色) のコメントについては、学術的な中身よりも、教育目標や対象 (的確な設定あるいは把握) などにも言及してほしい。

- ・書画カメラ (実物投影機) で上映しながら発表する 各チーム3分 (発表2分+質疑1分)

発表後、企画書提出

コピー (実物大 (事務局保存用) とA3判拡大 (掲出用)、それぞれ1部ずつ)

拡大コピーを会場に掲出 (模造紙の上に配置、まわりに付箋紙スペース)

<昼休み> 午後1時には戻ってきてコメントすること

#### 4. 昼休みをはさんで、他チームにコメント (13:00～13:30)

13:00すぎ、コメント方法について再度説明

13:30にはコメント受付終了。

#### 5. コメントを受けて作戦会議 (13:30～13:50)

台紙ごと、コメント用紙をすべて持ち帰り、色別に分け、検討する。

#### 6. 改良プログラム作り (間に適宜休憩) (13:50～15:00)

・改良について説明

・個々の意見を無視しない。できるだけ受け止め、何とか対応すべく検討。

・利用者のことを考えて、よりよいプログラムにすべく考えたい。

・企画書を作成する (切り貼りでもよい)、完成したらすぐに提出

・各班で発表者を決めておくこと。発表順は適宜。

#### 7. 発表 各チーム3分 (発表2分+質疑1分) (15:00～15:40)

書画カメラで上映しながら発表

各班の提出版は後日、スキャンして、PDFで参加者全員に送付する → お土産!

#### 8. まとめ (15:40～15:55)

ふりかえり; グループ内で5分ほど。グループ代表が30秒ほどで共有。

#### 9. セッションまとめ (15:55～16:00)

ポイントは「エンパワメント」

担当はここまで

16:00～16:10 全体セッション ふりかえりシート記入

16:10～ 全体セッション 前半のまとめ (井島真知さん担当)

16:20 終了